

平成 22 年度 6 月補正予算案

1 規模

一般会計	78億3,611万円
普通特別会計	_____
企業会計	_____
● 総 額	● 78億3,611万円

2 補正予算案の概要

一般会計補正予算案 78億3,611万円

(1) 緊急経済・雇用対策関連 78億1,611万円

ア 公共事業の追加 74億6,815万円

国の内示増に伴い公共事業費の増額補正を行うもの。

(主なもの)

道路維持 8億9,762万円

弁天町東篠崎1号線(紫跨線橋)等の道路舗装や橋りょうの補修に要する経費を計上するもの。

道路新設改良 20億1,247万円

国道199号(砂津バイパス)や曾根223号線等の道路や橋りょうの新設・改良に要する経費を計上するもの。

街路事業 25億1,834万円

黒崎駅前線や砂津長浜線の道路整備及び小倉駅南口の太陽光パネル設置等に要する経費を計上するもの。

港湾建設事業(国直轄事業負担金) 11億2,365万円

新門司地区の航路・泊地の浚渫や田野浦地区の岸壁改良に要する経費を計上するもの。

イ 重点分野雇用創造事業 2億2,796万円

国の平成21年度第2次補正予算において創設された「重点分野雇用創造事業」を活用し、雇用創出を図るもの。

全19事業 雇用者数150人(うち新規雇用133人)

(内訳)

重点分野雇用創出事業 1億8,331万円
介護、医療、農林水産、環境・エネルギー、観光、地域社会雇用の重点分野における雇用を創出するもの。

16事業 雇用者数128人(うち新規雇用111人)

地域人材育成事業 4,465万円
失業者を新たに雇用した上で、将来の就業に必要な知識・技術をOFF-JT(講義等)、OJT(職場実習等)により習得させるもの。

3事業 雇用者数22人(すべて新規雇用)

ウ 地域の魅力を活かしたまちづくり・にぎわいづくり事業

1億2,000万円

市民に身近な行政機関である区役所が主体となって、「地域に密着した課題」に「よりスピーディ」に取り組み、地域のにぎわいづくりや活性化に結びつけるとともに、地域への即効性のある景気対策に資するものとして、

- ・まつりやイベントなどを通じた商店街や地域のにぎわいづくり
- ・にぎわいに関する環境の整備
- ・市民センター等の公共施設の補修・改修

などの事業を実施するもの。

(2) 障害者スポーツセンター整備事業 2,000万円

現在の障害者スポーツセンターに代わる新たな施設を整備するための設計等に着手するもの。信託事業満了により市に引き渡されるスポーツ施設を利活用する。

22年度：基本設計・実施設計

23年度：改修工事

24年4月オープン予定(小倉北区三郎丸)

(3) 公立高等学校の授業料無償化に伴う財源補正

公立高等学校(北九州市立高等学校)の授業料無償化に伴い、新たな交付金が国から支給されるため財源補正を行うもの。

使用料を減額補正するとともに、国庫負担金を増額補正する。

(7,578万円)

(7,578万円)